

自作教具の活用事例

【作品名】 工程表	【学校名】 日立市立日立特別支援学校																												
【活用できる領域・教科等】 制作を行う学習や作業学習等	【制作者名】 富樫 慶任																												
【制作の意図】 生徒達が、教師からの指示で活動するのではなく、自分たちで考えて活動することができるようにする。	【使用方法】 授業の際に、工程表を確認したり、見ながら作業を行ったりする。 工程ごとに教師が確認をし、チェック欄にシールを貼ったり、記入したりする。																												
【制作上の工夫】 実際に生徒たちが活動している写真を使用することで、分かりやすくしている。 行った後で生徒と一緒に教師が確認をすることができるように、チェック欄を入れている。 順番通りに並べ、番号を記入しておくことで順番を間違えずに作業を行うことができるようにしている。	【見取り図】 ワークシートのため、ありません。																												
せんしゃこうていひょう 洗車工程表 名前 _____ <table><tr><th>順番</th><th></th><th>工程</th><th>チェック</th></tr><tr><td>1</td><td></td><td>水でほりやゴミを落とす。</td><td>☐</td></tr><tr><td>2</td><td></td><td>洗剤をつけてふく。</td><td>☐</td></tr><tr><td>3</td><td></td><td>水でながす。</td><td>☐</td></tr><tr><td>4</td><td></td><td>コーティング剤をつけてふく。</td><td>☐</td></tr><tr><td>5</td><td></td><td>水でながす。</td><td>☐</td></tr><tr><td>6</td><td></td><td>水けがなくなるまでふく。</td><td>☐</td></tr></table>	順番		工程	チェック	1		水でほりやゴミを落とす。	☐	2		洗剤をつけてふく。	☐	3		水でながす。	☐	4		コーティング剤をつけてふく。	☐	5		水でながす。	☐	6		水けがなくなるまでふく。	☐	【使用効果と応用発展】 小集団の授業の中で活用できる。 教師の指示だけではなく、生徒同士で考えて活動をすることができる。 工程表の枠があることで、作業の順番を生徒同士で考える時間を作り、プログラミング的思考への応用発展をねらうことができる。
順番		工程	チェック																										
1		水でほりやゴミを落とす。	☐																										
2		洗剤をつけてふく。	☐																										
3		水でながす。	☐																										
4		コーティング剤をつけてふく。	☐																										
5		水でながす。	☐																										
6		水けがなくなるまでふく。	☐																										
【材料・材質・部品等】 実際に行っている写真 ワークシート																													